

# 治療を中断される方へ 治療のお休み中にできる妊娠へ向けた準備

タイミング・人工授精の治療を中断や、胚移植の時期を遅らせることに対し、不安に思われる方もいらっしゃると思います。将来の妊娠に向けて有益な準備として、治療のお休み中にお受けいただけることをいくつかご提案します。

1

## Web ART勉強会の聴講(要予約) 定員なし

**開催日** 4月18日(土)・4月25日(土)・5月9日(土)・5月23日(土)  
(あらかじめARTパンフレットをお渡しします。)

2

## 胚移植を遅らせる間に採卵を行い、貯卵(貯胚)をしておく

**対象** 高年齢の方、卵巣機能低下が認められる方、AMHが低い方、不妊期間が長い方  
※採卵費用の減免制度をご利用いただける場合があります。(後述)

3

## 着床障害に関係する検査を受けておく

**対象** 過去の胚移植で良好胚を移植するも妊娠に至らなかった方

**検査** ・子宮鏡検査 ・免疫系の着床不全検査(採血)  
・慢性子宮内膜炎の検査(形質細胞診など)  
・ERA検査(着床窓の時期を調べる検査)

4

## 食事指導(当院栄養士等が定期的なアドバイスをを行います)

**対象** 過体重、やせの方

5

## 体質改善外来、漢方外来(要予約)

**対象** 過体重、やせの方 **診療日** 体質改善外来…月1回(不定期) / 漢方外来…毎週土曜日

## コロナ対策のため、貯卵(貯胚)を希望される方へ ご負担軽減策のご提案

初回の採卵・胚凍結後、移植せずに再度採卵を受ける場合は、  
2回目の採卵・検卵代が減免対象となります。

1回目 採卵・検卵代	176,000円
2回目 採卵・検卵代	143,000円 ←減免対象

既に採卵回数が3回目以降の方は、通常の減免をご利用いただいた方が有利です。  
この減免制度は、6月末日までの期間で採卵を受けられる方が対象となります。  
(2020年4月18日現在)